

国立国会図書館 花通志満台 4編 208-694

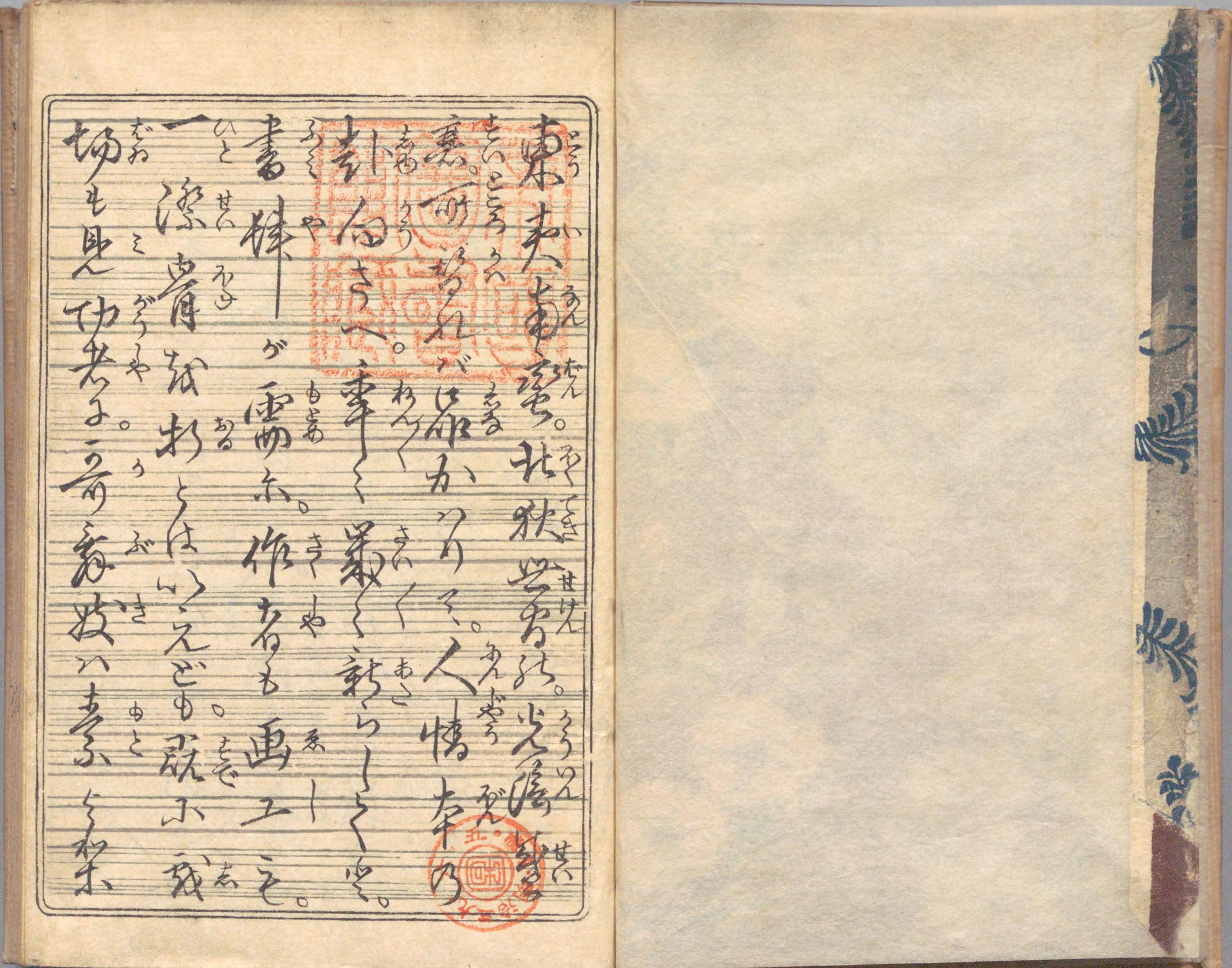
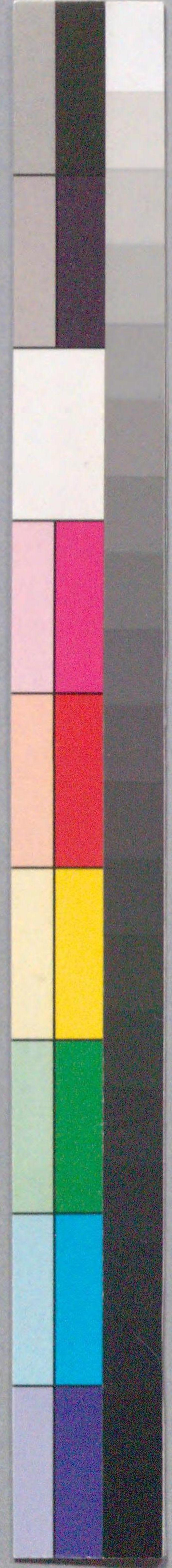
ガラス使用



花の島基  
四編上

208  
42  
694





東夷南蛮。北狄。皆吾族。火之。其  
 嘉。所。皆。人。情。本。乃  
 卦。向。事。新。一。之。  
 書。株。一。雷。亦。作。者。也。画。工。之。  
 一。深。骨。我。打。と。は。い。え。ど。も。既。不。我。  
 切。も。見。ゆ。者。子。一。奇。意。故。ハ。素。と。架。





木偶（まがら）まがら。世活（せがく）世に於ては。西行（さいぎやう）のよ  
 多事（たじ）も看（み）居（ゐ）不（ず）元（もと）を（を）意（い）の（の）う（う）ら。  
 ま（ま）し（し）て（て）草（くさ）牙（が）又（また）孝（こう）ば（ば）あ（あ）。秘（ひ）善（ぜん）  
 徳（とく）要（よう）哀（あい）不（ず）難（なん）其（その）不（ず）忠（ちゆう）信（しん）孝（こう）様（やう）予（よ）。  
 感（かん）歎（たん）々（々）予（よ）予（よ）華（は）好（こう）先（せん）只（ただ）相（あひま）方（かた）予（よ）が（が）好（こう）  
 予（よ）予（よ）目（め）を（を）不（ず）心（こころ）を（を）忠（ちゆう）信（しん）と（と）信（しん）二（に）冊（さつ）

ハロウ目一ハ

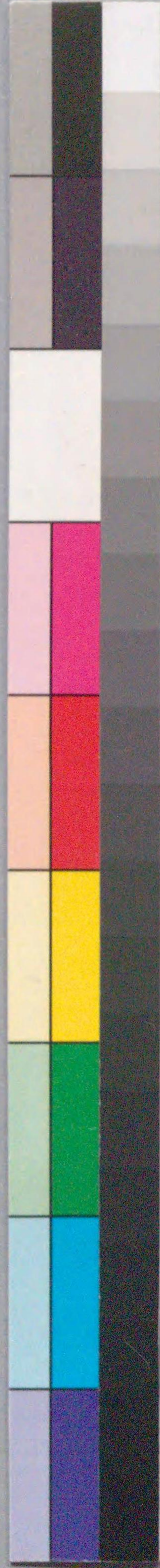
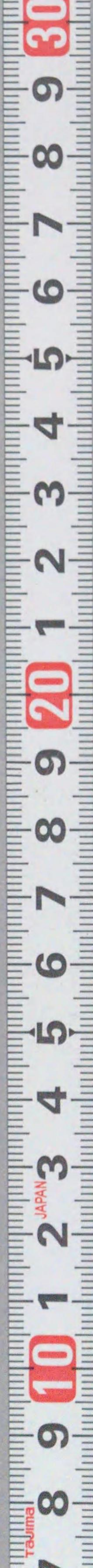
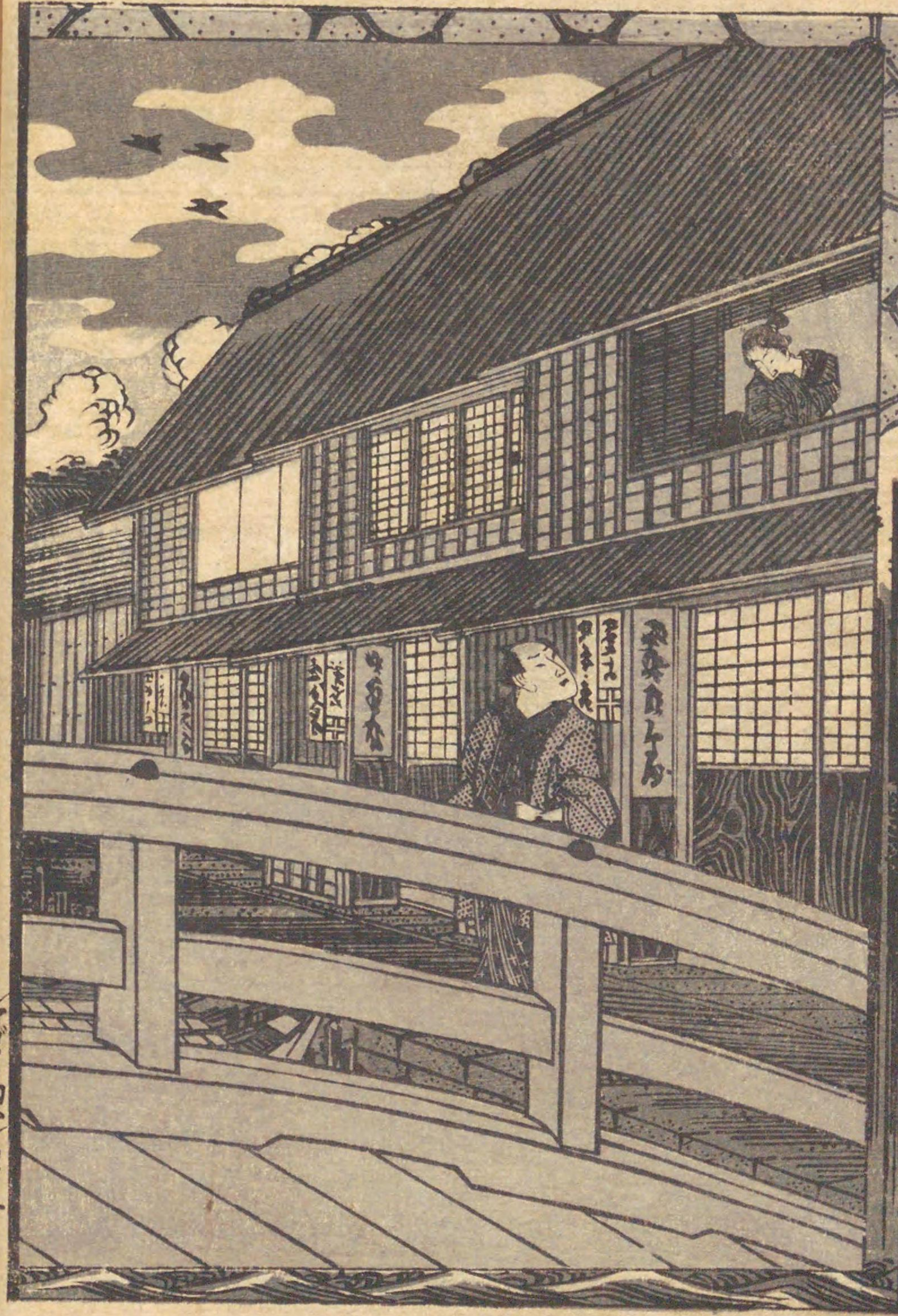
物（もの）小（せう）志（し）秘（ひ）公（こう）義（ぎ）予（よ）。四（し）編（へん）と（と）あり（あり）も  
 也（や）具（ぐ）負（ふ）の（の）は（は）予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。秘（ひ）法（ぽう）。  
 弱（じやく）予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。具（ぐ）加（か）又（また）叶（え）ひ（ひ）め  
 予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。眼（まなこ）の（の）予（よ）予（よ）と。  
 予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。  
 予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。予（よ）予（よ）予（よ）予（よ）。



清び一周年清りかき不<sup>おの</sup>不<sup>おの</sup>が  
田へを。印く手教多能活源<sup>ひやうせん</sup>安。  
志き心ら一久も<sup>ね</sup>不<sup>ま</sup>迎<sup>ま</sup>銀の代り<sup>く</sup>尔  
下<sup>こ</sup>ら<sup>こ</sup>結。お<sup>こ</sup>手<sup>こ</sup>り<sup>こ</sup>が<sup>こ</sup>ち<sup>こ</sup>る<sup>こ</sup>あ<sup>こ</sup>ふ<sup>こ</sup>不<sup>こ</sup>少<sup>こ</sup>の<sup>こ</sup>寓<sup>こ</sup>え。  
悦<sup>え</sup>お<sup>え</sup>の<sup>え</sup>道<sup>え</sup>ち<sup>え</sup>の<sup>え</sup>う<sup>え</sup>で<sup>え</sup>育<sup>え</sup>目<sup>え</sup>地<sup>え</sup>怖<sup>お</sup>ろ<sup>お</sup>ま<sup>お</sup>し  
まも<sup>ま</sup>お<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>お<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>。只<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>怒<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>赤<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>辱<sup>あ</sup>。

かた<sup>か</sup>ろ<sup>か</sup>素<sup>そ</sup>袍<sup>たう</sup>と<sup>と</sup>飯<sup>い</sup>不<sup>ふ</sup>着<sup>ち</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>志<sup>し</sup>を<sup>を</sup>  
久<sup>く</sup>く<sup>く</sup>と<sup>と</sup>下<sup>げ</sup>敷<sup>し</sup>の<sup>の</sup>彩<sup>さい</sup>下<sup>げ</sup>を<sup>を</sup>此<sup>こ</sup>れ<sup>れ</sup>も  
其<sup>その</sup>備<sup>び</sup>よ<sup>よ</sup>又<sup>また</sup>通<sup>と</sup>し<sup>し</sup>一<sup>いっ</sup>巻<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>下<sup>げ</sup>さ<sup>さ</sup>る<sup>る</sup>は<sup>は</sup>上<sup>じやう</sup>道<sup>だう</sup>  
大江<sup>たい</sup>だ<sup>だ</sup>れ<sup>れ</sup>。茶<sup>ちや</sup>通<sup>と</sup>号<sup>ごう</sup>号<sup>ごう</sup>下<sup>げ</sup>を<sup>を</sup>張<sup>ちやう</sup>く<sup>く</sup>日<sup>にち</sup>  
了<sup>りやう</sup>保<sup>ほ</sup>九<sup>く</sup>年<sup>ねん</sup>  
成<sup>じやう</sup>好<sup>こう</sup>也<sup>や</sup>也<sup>や</sup>  
東<sup>とう</sup>部<sup>ぶ</sup>古<sup>こ</sup>志<sup>し</sup>菴<sup>あん</sup>  
大<sup>だい</sup>福<sup>ふく</sup>  
吉<sup>きち</sup>



















物がある。空と水そのりがあるのサトゆてん。氣もある。口が  
 牙のうへ何も落しこぬるまい。善と。今文情を撰ぶ。おじ  
 燈くして強ちの氣を沈め。後へ居て指さるド。どん。物ご  
 者。トヤマ。まろの意。中うごね。登人の。お。不。やア。あ。の  
 一。く。身。あ。ア。う。て。果。ね。へ。應。でも。括。でも。強。さ。さ。あ。ご  
 ま。さ。う。登。人。の。仕。ね。へ。ヨ。者。へ。ア。レ。サ。我。流。ご。ア。子。左。後。後。を。お。ま。し。ご。や。ア  
 氣。の。ぞ。く。ご。ヨ。一。二。後。も。脊。も。ま。へ。ね。へ。が。を。若。自。己。も。お。ち  
 ぶ。き。て。は。ま。し。ね。へ。お。不。あ。る。ご。う。う。哉。流。不。由。そ。ん。あ。る。の。を

一。の。ご。う。う。ま。い。あ。つ。う。う。堪。忍。お。と。ま。ふ。ン。ご。う。ね。ね。お。一。や。ア  
 七。道。下。ド。や。ア。あ。い。ま。ご。き。く。用。が。あ。る。か。う。先。之。性。自。強。コ。レ。サ  
 用。が。あ。る。玉。用。が。ま。よ。久。し。の。ゆ。え。ご。用。の。ね。人。居。由。ま。あ。ん。ス  
 一。よ。う。く。ま。し。く。あ。る。ご。か。ま。ご。ね。へ。喜。ぶ。今。若。の。和。え。ご。の。ゆ。ふ  
 舟。て。を。合。ふ。性。の。ち。や。ア。あ。う。ま。い。う。う。サ。強。ハ。フ。ム。を。ま。や。ア  
 何。不。一。性。の。ご。自。己。由。一。不。一。性。う。者。へ。ハ。イ。ミ。を。ご。う。う。志。か。一  
 十二。私。一。を。う。り。性。ま。ま。う。強。ハ。コ。レ。サ。何。不。一。性。と。い。ふ。サ。ト。不。得















於吉園  
強六  
出

お吉  
お吉  
お吉  
お吉  
お吉







社（ま）をさし（ま）て（ま）戻（ま）さ（ま）め（ま）ど（ま）か（ま）き（ま）の（ま）うち（ま）め（ま）ら（ま）せ（ま）と（ま）食（ま）あ（ま）ら（ま）  
 も（ま）。板（ま）と（ま）眉（ま）を（ま）ま（ま）つ（ま）め（ま）て（ま）。一（ま）ま（ま）ど（ま）つ（ま）て（ま）お（ま）ち（ま）も（ま）骨（ま）を（ま）お（ま）て（ま）か（ま）き（ま）  
 り（ま）の（ま）金（ま）を（ま）信（ま）ち（ま）や（ま）ア（ま）の（ま）毒（ま）ど（ま）ら（ま）ま（ま）強（ま）一（ま）十（ま）サ（ま）た（ま）り（ま）お（ま）と（ま）ま（ま）ら（ま）せ（ま）  
 ち（ま）の（ま）毒（ま）ど（ま）と（ま）あ（ま）ら（ま）る（ま）。政（ま）で（ま）出（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）節（ま）小（ま）返（ま）。お（ま）ち（ま）大（ま）南（ま）大（ま）板（ま）  
 下（ま）や（ま）ア（ま）は（ま）め（ま）ら（ま）る（ま）。お（ま）ち（ま）茶（ま）の（ま）お（ま）ま（ま）の（ま）あ（ま）ら（ま）い（ま）仕（ま）振（ま）う（ま）ね（ま）ん（ま）  
 一（ま）さ（ま）り（ま）く（ま）変（ま）定（ま）し（ま）て（ま）仕（ま）ま（ま）い（ま）る（ま）お（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）ま（ま）と（ま）ら（ま）つ（ま）て（ま）引（ま）放（ま）お（ま）ち（ま）は（ま）  
 や（ま）が（ま）て（ま）強（ま）ち（ま）よ（ま）。ひ（ま）つ（ま）ま（ま）ら（ま）く（ま）先（ま）へ（ま）向（ま）つ（ま）て（ま）強（ま）ち（ま）は（ま）途（ま）中（ま）ゆ（ま）く（ま）  
 酒（ま）穀（ま）と（ま）あ（ま）ら（ま）い（ま）る（ま）お（ま）ち（ま）茶（ま）が（ま）完（ま）へ（ま）お（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）お（ま）ち（ま）。お（ま）ち（ま）一（ま）つ（ま）を（ま）

一（ま）片（ま）を（ま）守（ま）り（ま）。大（ま）後（ま）と（ま）被（ま）ぎ（ま）て（ま）外（ま）飛（ま）る（ま）さ（ま）め（ま）と（ま）ら（ま）る（ま）お（ま）ち（ま）つ（ま）け（ま）  
 て（ま）お（ま）の（ま）うち（ま）の（ま）。可（ま）笑（ま）さ（ま）を（ま）境（ま）へ（ま）あ（ま）ら（ま）る（ま）。枕（ま）の（ま）と（ま）ま（ま）に（ま）倚（ま）て（ま）  
 一（ま）和（ま）の（ま）さん（ま）の（ま）移（ま）ど（ま）。お（ま）ち（ま）茶（ま）さん（ま）ど（ま）ち（ま）小（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）この（ま）。や（ま）し（ま）く（ま）ま（ま）で（ま）ゆ（ま）  
 怪（ま）お（ま）ア（ま）一（ま）ね（ま）で（ま）音（ま）ら（ま）る（ま）。世（ま）表（ま）冷（ま）ら（ま）る（ま）。何（ま）れ（ま）し（ま）て（ま）ゆ（ま）。陰（ま）  
 梅（ま）が（ま）あ（ま）ら（ま）い（ま）ま（ま）が（ま）が（ま）。ナ（ま）ラ（ま）く（ま）ま（ま）ら（ま）い（ま）る（ま）お（ま）ち（ま）ね（ま）移（ま）ど（ま）。お（ま）ち（ま）ん（ま）  
 一（ま）お（ま）ち（ま）ね（ま）へ（ま）。一（ま）イヤ（ま）ハ（ま）ヤ（ま）命（ま）拾（ま）ひ（ま）を（ま）仕（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）。チ（ま）イ（ま）く（ま）婦（ま）  
 さん（ま）。お（ま）ち（ま）茶（ま）の（ま）お（ま）ち（ま）で（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）この（ま）。紙（ま）屋（ま）の（ま）換（ま）投（ま）へ（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）。一（ま）十（ま）二（ま）サ（ま）  
 途（ま）中（ま）ゆ（ま）く（ま）強（ま）ち（ま）さん（ま）お（ま）ち（ま）小（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）の（ま）。お（ま）ち（ま）茶（ま）の（ま）お（ま）ち（ま）も（ま）ま（ま）ら（ま）る（ま）。



あち 彼方へ 行かぬ ぬらひのヨ 一 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 百

あち 彼方へ 行かぬ ぬらひのヨ 一 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 百

ガラス使用





巨細はくちねくが。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 何れも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 自己も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 このご。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 多く。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 能への。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 若く。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 おく。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。

空も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 射も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 つも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 屋も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 して。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 のも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 知も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。  
 去も。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。お茶の湯那小邊のりも。

















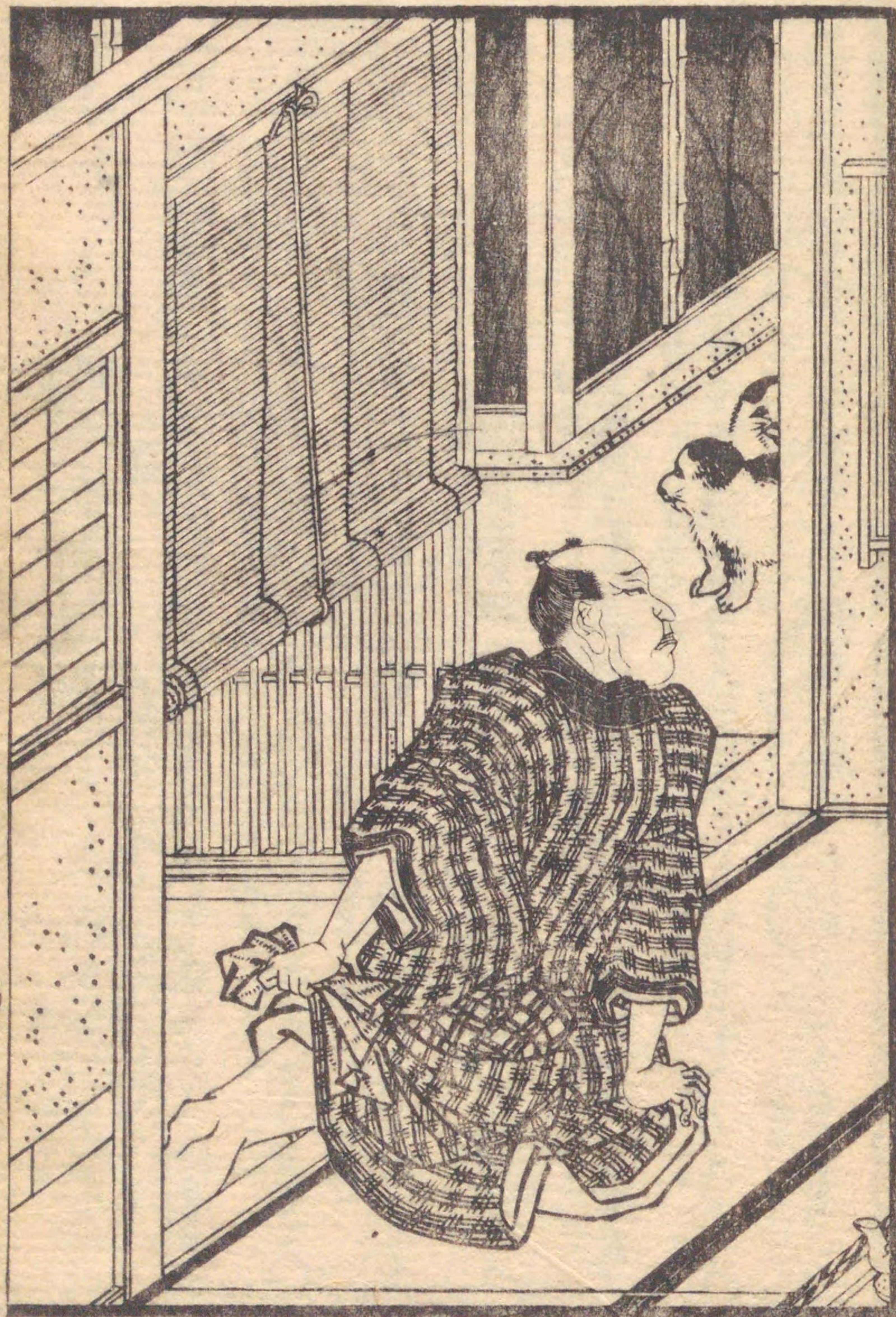












鬼勝小春不  
心中  
かゝる





1 休むと。お花のききふまらう。きり由法もよきこと  
2 けいふらうさきつのが花いろう。小をも止お花も止。まじ  
3 うア坊さんふぬさきで。一生たがでまをさうがさう  
4 むりくそ。花さう。お花やアの飛智もお入花さう  
5 今までの好方小。紙舟金の又十や六十八の物ねでもする  
6 かる。希さんとお話して。まお花の所へ紙舟をくくる  
7 せんと。得瓜分ての紙治さんの云ふさうで。アイと由  
8 いとさびふともりささび。私まやアのねくさうと

これ 若男にぬてあうまい。む此中のお花や。小ま  
さんと姉様分ちて。何処う紙舟をやるさうか。アイと  
お花やアのねくさう。紙舟をくくるさうか。紙舟をくくる  
まじふ。姉女とらさきも。まじふ。それまやア構はる  
う。一生紙治さんの侍で。くじさののがおひでふす。て  
一具の小まさんとも。姉様分ちて。あうてさうで。さう  
侍んで。紙治さんへきて。貴方へとさう。楽さうして。居る所が  
初めて。さうやア。妹小は紙舟さう。紙治さん由。紙舟をくくる









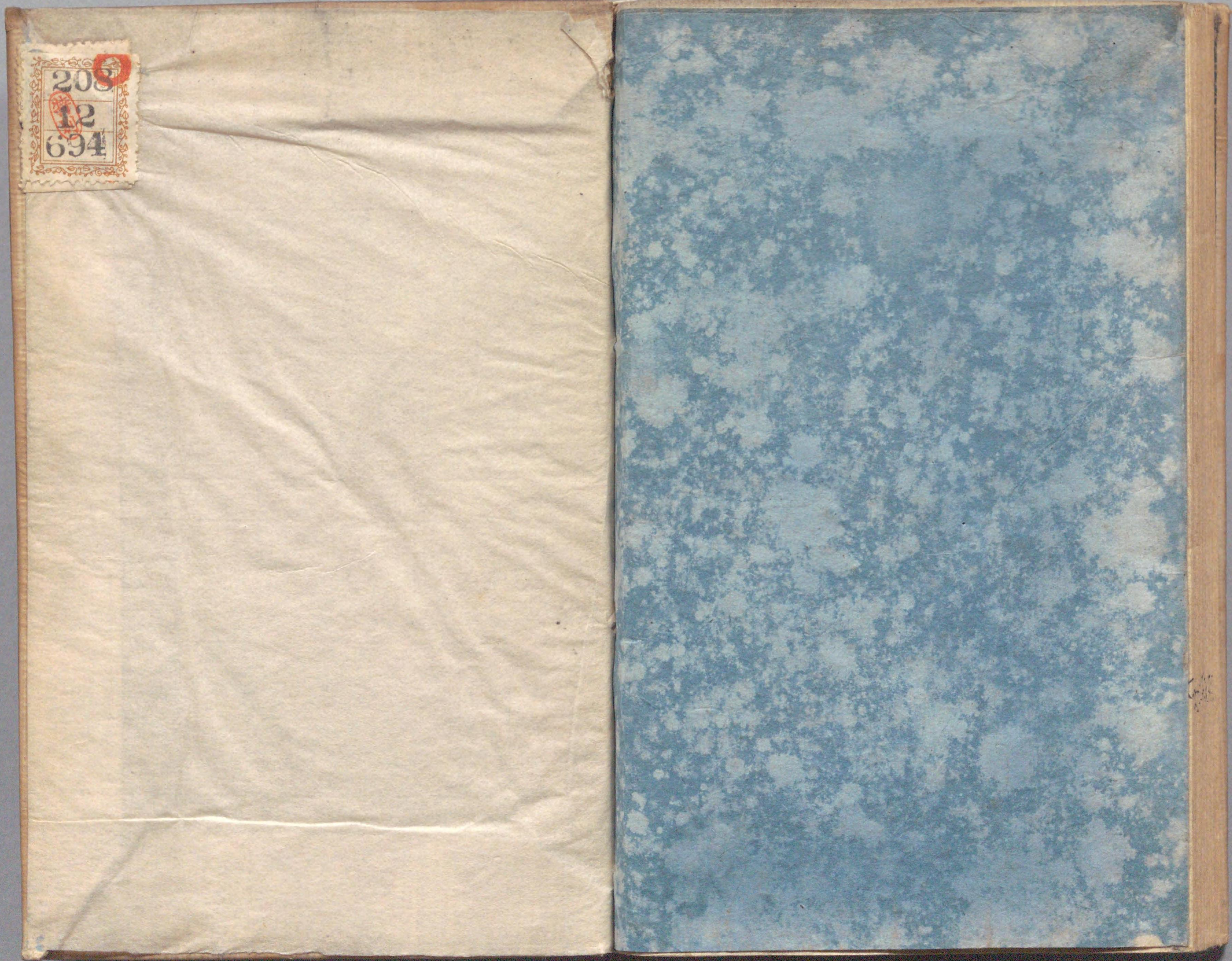
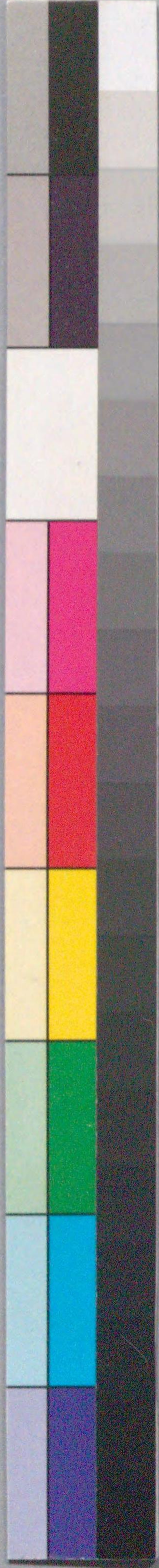




のと<sup>は</sup>後<sup>の</sup>よ<sup>り</sup>後<sup>と</sup>と<sup>り</sup>て<sup>は</sup>こ<sup>の</sup>後<sup>に</sup>なる<sup>は</sup>成<sup>る</sup>て<sup>は</sup>後<sup>と</sup>か<sup>ら</sup>い<sup>て</sup>や<sup>ア</sup>冷<sup>方</sup>  
 かり<sup>の</sup>か<sup>ら</sup>い<sup>て</sup>せん<sup>ね</sup>れ<sup>ば</sup>誰<sup>れ</sup>ぞ<sup>も</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>い<sup>て</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>は<sup>ら</sup>い<sup>て</sup>ま<sup>は</sup>  
 り<sup>の</sup>成<sup>る</sup>て<sup>は</sup>出<sup>し</sup>て<sup>は</sup>こ<sup>の</sup>う<sup>ち</sup>に<sup>お</sup>れ<sup>ば</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>死<sup>の</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>  
 人<sup>と</sup>や<sup>ア</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>ば</sup>い<sup>て</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>  
 ト<sup>の</sup>ひ<sup>の</sup>終<sup>ら</sup>び<sup>に</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>ば</sup>い<sup>て</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>  
 和<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>ば</sup>い<sup>て</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>あ<sup>ら</sup>ず<sup>に</sup>お<sup>の</sup>れ<sup>は</sup>

志満基屋四編卷之上終





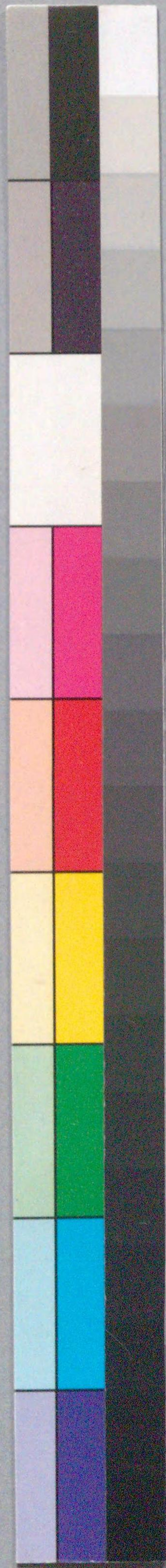
208  
12  
694



国立国会図書館 花廻志満台 4編 208-694

ガラス使用





国立国会図書館 花廼志満台 4編 208-694



ガラス使用

